

【権利擁護専門部会報告】

権利擁護専門部会について

【目的】

第四次障害者計画においては、相談支援と権利擁護を障害のある人の生活を支える基盤となる制度と捉え、相談支援体制の充実とともに、地域における生活支援と一体となった権利擁護体制の構築を目指している。

本専門部会では、計画に記載された施策の具体化に必要な協議・検討を行い、実施していくこと目的としている。

【開催経過】

平成21年4月～11月まで毎月1回（6月を除く） 計7回

【主な協議事項】

◎ 障害のある人を地域で支えるためのネットワークづくりモデル事業

障害のある人が地域において社会の一員としてその人らしく暮らしていくため、地域の支援者のネットワークを構築するモデル事業を実施し、障害のある人を地域で支える体制づくりを進めていく。（特に、福祉と司法のネットワークづくりを重視。県内2箇所で開催中。）

◎ 障害者の虐待防止に係る協議

国において検討が進められている「障がい者虐待の防止、障がい者の介護者に対する支援等に関する法律案」（民主党案）について、その概要を調査するとともに、千葉県弁護士会の協力を得ながら障害者虐待の事例検討を行った。（事例検討は2回実施）

◎ 地域の多様な人々とのつながりをつくるための仕組みづくり

県とNPOとの協働事業を利用し、障害のある人と社会参加・余暇等を共にしながら楽しい時間を共有するなど、支援者や家族だけでなく、地域社会において障害のある人と多様な人々との関わりを作る仕組みを検討。（平成22年度のNPO協働事業に採択されることが決定している。）